



株式会社孝匠 事務 主任

し の は ら か な 篠原 佳奈

2016年3月に入社し、現在は株式会社孝匠で事務の主任として活躍する篠原佳奈。入社以来、様々な業務に携わってきた篠原に、これまでの出来事や苦労したこと、今後の展望について聞いた。

設計の仕事から事務職へ

両親が造船業を営んでいた関係で、幼い頃から「仕事」の存在は身近にあった。高校生になると会社に顔を出すことが増え、社会人というものを肌で感じる機会も多くなる。そんな中、経理担当の社員が正確に業務を遂行する姿を見ているうちに、事務の仕事に対して漠然とした憧れを感じるようになったという。

だが、入社してすぐに事務の仕事に就いたわけではない。学生時代に建築デザインの勉強をしていた篠原は、庭周りなどエクステリアの設計を担当

当していた。学んだ技術を活かし、充実した社会人1年目を送っていた篠原だが、翌年転職が訪れる。事務職として働いていた先輩が退職することになり、業務を引き継いだのだ。

慣れない業務で奮闘

先輩の退職で事務を担当することになったものの、十分な引き継ぎができず、全く経験のない業務を前にして途方に暮れてしまうこともあった。

そこに、2人の救世主が現れる。株式会社トータルハウジングで勤務する主任の谷口と、代理の佐根だ。所属する会社は違うが、2人が親身になって丁寧に指導してくれたおかげで、約1年かけて事務としての業務全般を把握できた。その裏には、篠原の負けず嫌いな性格も多分に影響して



いる。同期入社の子社員に対して誰にも負けられないという気持ちがあり、新しい仕事で人一倍努力する原動力になったという。

事務職としての矜持

事務で一番大切にしているのは、ミスをゼロにすること。何事においても見落としをなくすように、コツコツ努力を重ねてきた。ただ、人間が行う

仕事である以上、どうしてもミスは出てしまう。そんな時は、ミスに誰よりも早く気づき軌道修正をしている。また、自身の業務だけではなく周りの仕事にも関心を持ち、「気づきの精神」を大切にしながら取り組んでいる。事務職として職場の全員と関わりを持ったことで、会社全体を見る広い視野を身につけたのだ。

広告へのこだわり

事務作業の他にも、入社2年目で任せられた広告制作にも力を入れていく。広告はお客様の来店や問い合わせのきっかけとなる、重要な業務。そのため広告のクオリティには、かなりのこだわりを持っている。

完成したものを社長に確認してもらった際、当初は修正の指示が多かったが、回数を重

ねるうちにポイントを把握できるようになり、一度でOKをもらえることが多くなった。修正に時間がかからなくなり、他の業務に回せる時間が増えたという。社長とのやりとりは、勤務地が違うためメールや電話で行っているが、対面で会う機会が少ない分「ありがとう」の言葉が嬉しく、やりがいに繋がっている。

未来を見据えて

会社を家族にたとえるなら、現在の仕事は「孝匠のお母さん」のような存在だ。自分はそのようにして会社に貢献できるかを考えた時、縁の下の力持ちになって会社全体を支えたいという思いが強い。新しく入社する後輩社員に関しては、自分が入社したときに不安に思ったことや失敗した経験を踏まえ、同じ思いをさせないようにしっかり育成して

いきたいと思っている。

新しい取り組みとして、今後はSNSを利用した情報発信にも力を入れていく。広告制作で培ってきた技術を元に、YouTubeを利用した動画配信など、新しく集客に繋がられる仕組みの構築を目指す。

「事務から会社全体を盛り上げ、孝匠の売上を伸ばしていきたいと思っています」と語る篠原。今後の躍進を期待せずにはられない。



表紙掲載者

へのメッセージ

～篠原さん編～



株式会社孝匠 南店
営業事務
一松 美彩さん

篠原さんへのメッセージ

篠原さんとのご関係は？

後輩になります。年齢は私のほうが上ですが、社歴は篠原さんのほうが長く、昨年8月に入社してこのかた、手取り足取り仕事を教えていただきました。

篠原さんはどのような存在ですか？

仕事では頼れるお姉さんの存在、プライベートでは妹のように可愛らしい存在です。年齢的には私よりも年下ということもあり、プライベートの篠原さんはとっても可愛い一面を見せてくれ、愛らしい彼女から目が離せません。

いつも仕事もプライベートも大変お世話になりましてありがとうございます。どれだけ支えていただいたか分かりません……！今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



株式会社孝匠
営業
田中 琢海さん

篠原さんへのメッセージ

いつもありがとうございます。困ったときは一人で抱え込まず、私も出来ることはお手伝いしますので相談してください。そしてこれからもよろしくお願いいたします。

今回表紙に登場した篠原さん。縁があるお二人から応援メッセージを頂戴致しました。みなさまありがとうございます！

いつもありがとう！

篠原さんの尊敬できるところ

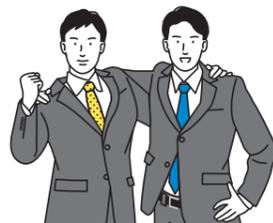
とにかく完璧なところ！細かい点までよく気が付き、ミスがあったとしても事前に気がついてくれます。まさに「できる人」という言葉がぴったりだと思います。事務も営業もマルチにこなし、心から尊敬しています。

篠原さんとの思い出を教えてください

私が入社して間もない頃、仕事を覚えるのに一杯で周りが見えないことがありましたが、篠原さんに優しくご指導いただいたことが思い出です。また、公私に渡り仲が良いことが自慢で、一緒にでかけたりご飯を食べたりすることもあります。

篠原さんの尊敬できるところ

部署問わず、会社全体の事務作業を担っている点です。忙しいと思いますが、会社全体に目を配っているところは流石だと思います。また、忙しい中でもスケジュールを調整し、率先してチラシ配りなどを行ってくれます。全社に貢献している点でも素晴らしいと思います。



昔の大失敗エピソード episode

皆さんの「やってしまった……！」エピソードを集めました！
あの人意外な一面が垣間見えるかもしれません！

Part 2



失敗談
お話しします！

株式会社感動 住宅事業部営業課 宮下 達矢 (みやした たつや)さん

あなたの昔の大失敗エピソードを教えてください！

入社3年目の時です。土地案内の際に3件隣の間違った土地を紹介してしまいました！仲介業者から紹介を頂いた現地写真の風景と土地の坪数、形状が非常に似ており、しっかりと物件確認してなかったのが原因でした。案内後、お客様がその土地を大変気に入り、土地契約の意思をいただいたのですが、仲介業者に契約書作成の依頼で連絡した後、その事実気づき顔面蒼白になりました。結果、お客様にしっかりとお詫びを入れ、元々の物件を気に入って頂いたので無事ご契

約に至りました。今でも反省しております。2度と同じような事にならないよう、しっかりと物件確認(敷地調査含む)をしていきたいと思っております。

その失敗から学んだことを教えてください！

お客様の人生を左右するくらい、大きな買い物である物件やマイホームのご提案をさせていただいています。スピードも大事ですが、こまめな確認が信頼に繋がります。責任感や意識の向上になりました。



建設事業部 工務課 永山 耕太郎 (ながやま こうたろう)さん

あなたの昔の大失敗エピソードを教えてください！

大工さんより連絡があり、現場で商品が収まらないと言われました。図面を確認すると図面上では収まっていたのですが、実際に現場に行き、商品の寸法と現場の寸法を確認すると収まらず……。やり直しとなりました。

その失敗から学んだことを教えてください！

図面上では寸法通りに表現できないところもあります。現場寸法及び商品寸法を確認したうえで大工さん、業者様へ伝達することの大切さを学びました。



建設事業部 デザイン設計課 津曲 龍二 (つまがり りゅうじ)さん

あなたの昔の大失敗エピソードを教えてください！

入社1年目の話です。お客様へ間取りや外観の説明の際に専門用語を使って説明してしまったことがあります。お客様に上手く伝わっておらず、再度同じ内容の打ち合わせをすることとなり、お客様にご迷惑をおかけしてしまったことがあります。

その失敗から学んだことを教えてください！

お客様の気持ちになり説明をするように心掛けています。また、言葉では伝えにくい時は写真や実際の建物などを使いお客様に説明するように気をつけています！

